

桜真

NO.56

2023(令和5)年7月19日発行
岩瀬日本大学高等学校
<https://www.tng.ac.jp/iwase/>
父 母 と 教 師 の 会
〒309-1453
茨城県桜川市友部1739
TEL 0296-75-2242
FAX 0296-75-4905



筑波山連山の北部，雨引山の中腹にある雨引山樂法寺は，587年に開山した勅願寺で，安産や子育て，厄除けなどのご利益で知られます。また，100種5,000株が咲くあじさいの名所としても有名で，毎年6月下旬頃から7月上旬にわたって「あじさい祭」が行われます。今年もボランティア部の生徒が4日間，あじさいの手入れのために剪定した花を境内の池に浮かべる「水中華」のお手伝いを行いました。ボランティア部では，地域の方々とのおふれあいを大切に，たくさんの方に喜んでもらえるような活動をしていきたいと思っています。

(顧問 柴 佳絵)



桜瑛祭報告

6月17日、18日。第22回桜瑛祭を開催しました。

「開花」をテーマに18クラスと11の有志団体が出展・参加をしました。

まず、目を引いたのは、桜瑛実行委員の企画による文化祭モニュメントのモザイクアートと風船アーチの入場門でした。

また生徒会は校内装飾でD棟生徒ホールを華やかに装飾し、コロナ禍で規制の多い学校行事を経験してきた生徒たち一人一人の文化祭に彩りを添えました。

今年度の桜瑛祭で特筆すべきは、ご家族の皆様の来場ができるようになったことと、3年生と支部による模擬店の復活で



桜瑛祭展示部門

優勝 1年6組

「桜瑛祭を振り返って」

特別進学コース1年6組

担任 三代 哲

岩日の「文化祭」と言えば、特進コースの文化的出展。吉田校長、長田主任を始め、歴代の特進コース担当者が文化祭で優勝を勝ち取ってきた。しかし、コロナ禍で文化祭のスタイルも

す。一般公開は見送り完全復活とは行かないまでも、新型コロナが5月に5類になり日常生活が戻りつつある中で、マスクを外しての飲食も解禁となり、開放的な気分でも楽しむことができようでした。

文化的出展では優勝を目指して各クラスが趣向を凝らし、クラス一丸となつて準備に時間をかけて完成度の高い出展を披露し、盛大に開催されました。

「皆さんの協力に感謝」

桜瑛実行委員長

佐々木玲奈(3-4)

コロナ禍の中での文化祭は大きな挑戦でしたが、皆さんの努力と協力により、安全なイベントを実現することができました。企画、運営に始まり、各クラスの出展や実行委員によるアーチ作成やモザイクアート、有志のステージ発表、さらに生徒の皆さんの文化祭を楽しむ姿勢、すべてが桜瑛祭の魅力を引き出していました。

三年生は模擬店をすることができ、にぎやかな桜瑛祭となりましたが、それまでにはいろいろと困難な面がありました。しかし、全校生徒の皆さんが協力してくれたおかげで、とても素晴らしい出展をすることができました。ありがとうございました。



少しずつ変化を遂げ、ここ2年間、特進コースは「優勝」から遠のいていた。この優勝という成功体験は生徒たちが成長する上で、必要不可欠なものだと私は考えている。これから受験に向かい努力を重ねていく生徒たちにとって、努力をしたことが形となるか否か、非常に大切なことだ。

そのような思いを抱え、文化祭の話し合いを迎えた。しかし、生徒たちは1年生。これまでの岩日の文化祭どころか、中学時代もコロナ禍で、文化祭自体初めてという生徒もいる状況。私自身も、久しぶりの担任業務。どこまでできるか不安しかないが「何とか優勝させたい」という思いで生徒たちと話し合いを始めた。私がアドバイスをするためには、自分の得意な分野へ持つて行きたい。何とか私の趣味を活かした方向へ上手く生徒を誘導できた。後は生徒たちが走り出してくれるかどうか。なかなか動き出しは遅かった。しかし、我慢をし、見守った。私からは折を見て「不安に感じる」とや「生徒とイメーシが共有できずモヤモヤしていること」を伝え、出展への考えを深めるよう促した。その言葉を受け、委員長を始めとして、生徒たちは役割分担を作り、それぞれの長所を活



かし、少しずつまとまり始め、走り出してくれた。休日返上で神社に取材に行ったり、放課後の時間も学習との両立をしながら準備に取り組んだり、想像以上に頑張ってくれた。少しずつ形になってきた展示物は私の想像を上回るものだった。また、当日の展示説明も予想以上にしっかりしていた。コミュニケーションを取るのが苦手な生徒も、クラスのために一生懸命台本をおぼえ、来場者に説明していた。そんな生徒の姿を見ながら、文化祭を通じ、成長を感じることができた。

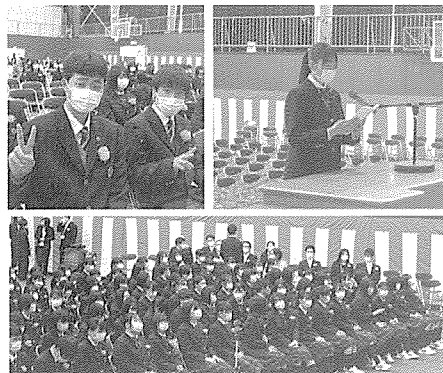
そして、閉会式での順位発表。何とか「優勝」を掴み取ることができた。この経験で生徒たちは「自信」を持ち、一回り大きくなったように見える。これからの更なる成長が楽しみだ。

最後に優勝を目指し、頑張ってくれた生徒たち、また、送迎等ご協力いただいた保護者の皆様、心より感謝申し上げます。

学校行事

○入学式

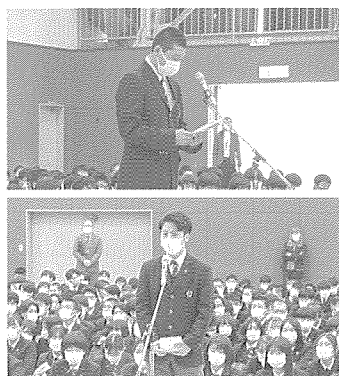
4月4日。204名の新入生を迎え、保護者の皆さまの見守る中、入学式が挙行されました。式の様子はオンラインライブでの配信を行いました。茂木萌華さん(1-6)が新入生誓いの言葉を、歓迎の言葉を生徒会長横島竜季さん(3-5)が述べました。



○始業式・対面式

4月7日。始業式終了後、新入生と在校生の対面式が行われました。対面式では、生徒会を中心に作成した行事紹介や制服のルール紹介、部活動紹介の動画を鑑賞し、新入生に岩日での学校生活の様子を紹介しました。また、式の中では、新入生代表の菅野力輝さん(1-5)

から力強く新しい高校生活への決意が述べられました。また、歓迎の言葉を増子魁さん(3-2)が述べました。



○全1年生手帳ガイダンス

4月7日。1学年は手帳ガイダンスを行いました。本校ではFR手帳を採用し毎日の計画的な学習や振り返りを励行しています。当日はペア・グループワークを交えながら、手帳を使用する意義や使い方を学びました。

○全1年生進路オリエンテーション

4月10日。進路指導主任の木川先生より、1年生に向けて希望進路達成のための熱いメッセージが送られました。

○基礎学力到達度テスト

4月19日、20日。全1、2年生は19日、全3年生は20日に基礎学力到達度テストを受験しました。この試験は、全付属生が受験する日本大学進学に重要な試験とあって、生徒の皆さんは気合いを入れて受験していました。

○避難訓練

4月21日。全校生徒・全教職員を対象に避難訓練が行われ、校内の避難経路を確認しました。また、生徒の皆さんは、被害を最小限に抑えるための自主的な行動、危険に対する判断力を身につけることができました。

○5類感染症への移行に伴う本学園における新型コロナウイルス感染症対策についての連絡

5月2日。感染症対策について、5類感染症移行後も引き続きご家庭と連携し生徒の健康状態の把握に努めるための連絡を行いました。

○自転車通学者講習会

5月10日。桜川警察署交通課の鶴崎高志課長をお招きし、生徒が自転車事故の被害者や加害者にならないよう未然防止するため、自転車を使用する生徒を対象にした講習会を実施しました。お礼の言葉を藤咲拓海さん(1-3)が述べました。



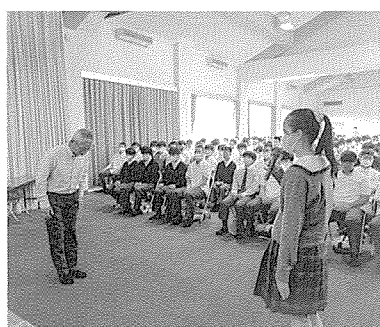
○インターネット安全教室

5月11日。茨城県警察本部少年サポートセンターから大塚敦男氏をお招きし、スマートフォンやタブレットから生徒を守ることを目的として全校生徒を対象にインターネット安全教室を行いました。お礼の言葉を、初見樹利さん(3-1)が「SNSや掲示板などのインターネット上でのトラブルは、誰もが被害者にも加害者にも容易になり得ることを改めて学ぶことができました」と述べました。



○薬物乱用防止教室

6月1日。薬物乱用の現状と



薬物依存の恐ろしさを理解させ、薬物の未然防止と喫煙教育を目的として全1年生を対象として、茨城県警察本部少年サポートセンターから担当者をお招きして講話をいただきました。お礼の言葉を藤田陽愛さん(1-1)が述べました。

○命の教育(生と性)の実施

6月13日。全1年生を対象に、講師に中田千恵氏(子どもの未来を育む会)と中井聖氏(NPO法人ままとーん)をお招きし、命の教育を実施しました。この行事は、いのちに関する教育を通し、人の生命の尊厳や性に関する正しい知識を習得するとともに、自分自身や他の人の価値を尊重し相手を思いやる心を磨き育てることを目的として毎年行っています。当日は、講師のほかにボランティアの方とその赤ちゃんと数組が来校して、赤ちゃんとのふれ合いがありました。お礼の言葉を仲見川芽輝さん(1-2)が述べました。



「緑豊かに」



父母と教師の会

会長 上野 真紀

令和5年度父母と教師の会会長を拝命いたしました上野と申します。どうぞよろしくお願い致します。

はじめに、去る5月20日、4年ぶりとなる対面での総会が滞りなく終了しましたことをここに報告申し上げます。またご協力いただきました会員の皆さま、諸先生方には心よりお礼申し上げます。

本会の役割は、子どもたちの重点目標とする「自主創造」、その礎を築くことができるような環境作りだと考えます。そのためには、私たちが相互に緊密な連携を図り、協力し合いながら世の状況に対応していくことが必要です。

と堅い言葉を並べましたが、本音を言えば、もうすぐ手を離れてしまう子どもとの大切な時を、あれやこれやと世話を焼

き、成長を見守り、関わり、共に情報を共有し楽しみたいという。

この一言に尽きるのです。

コロナ禍より、悔しくもその活動ができなかった方々の思いを胸に、令和5年度は新たな役員の皆さまと共に、活気あふれる活動を目指し始動します！

その先駆けとして、つい先日、緑豊かにあふれる学舎で

「桜瑛祭」が開催されました。

体育館には若人の歌声が響き、教室では楽しい笑顔と希望があふれていました。趣向を凝らした各支部による飲食販売も即日完売！連日の気温は夏ながら、滴る汗にも負けずその瞬間をカメラに収めていたのは吉田校長先生でした。

集うご家族の中には我が母校を懐かしむ方、そして新しき時代の子どもたちの姿も…。歴史

豊かにたゆとうその光景に永劫の時を重ね合わせたその瞬間、私には、岩瀬日大伝統の実心と夢のバトンが見えたような気がしました。この日のためにと、汗を流してくださった各支部の皆さま、諸先生方、ご家族の皆さま、生徒の皆さん、暑い中お疲れ様でした。

最後に、現代の悲しきかな。複雑で予測困難な時代の中で生き抜かなければならないこれらの子どもたち、君たちは、その未来が明るい未来に変えられる創り手でもあるのです。

本会は、全力で君たち一人一人を応援します。

会員の皆さま、諸先生方、今後ともご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

父母と教師の会等役員

役 職 名	氏 名
父母と教師の会会長	上野 真紀
後援会会長	平 香央里
体育後援会会長	西岡勇一郎
父母と教師の会監事	小森 真代
副会長・県西支部長	生井 秀世
副会長・ときわ支部長	大竹 広美
副会長・栃木支部長	久保田 正
桜川支部長	小河原文絵
下館支部長	坂入 広道
北つくば支部長	小久保 勲
成人教育委員長	田村 郷美
生徒指導委員長	染谷 勝
広報委員長	赤城真由美



父母と教師の会等総会

授業参観・クラス懇談会

5月20日。令和5年度父母と教師の会等総会と授業参観、クラス懇談会が行われました。総会は3年ぶりに体育館で実施され、授業参観やクラス懇談会も人数制限なく多くの保護者の皆さまが来校してくださいました。

総会に先立って開催された各支部の総会も対面で実施されました。

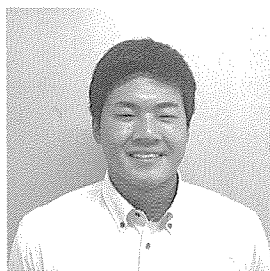
同窓会総会

5月22日。今年度で5名の役員が退任し幸田新会長のもと、新たな組織で動き出します。次回は9月に理事会が行われます。



部活動NEWS

全国大会出場おめでとう！



陸上競技部円盤投
澤 勇気(3-5)



ソフトテニス部女子個人
齋藤 綾乃(3-5)



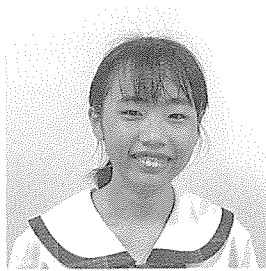
ソフトテニス部女子個人
川田 桃叶(3-3)



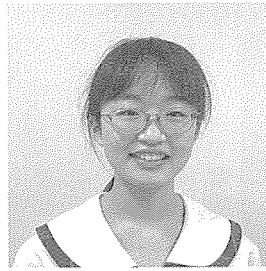
卓球部女子シングルス
新治 舞羽(1-5)



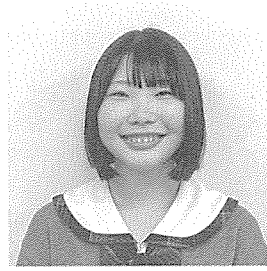
ソーシャルメディア部
放送部門
高野 晴香(3-2)



ソーシャルメディア部
新聞部門
村上 綾菓(1-6)



ソーシャルメディア部
新聞部門
三宅 真彩(2-6)



ライフル射撃部
ビームピストル女子
田村 美羽(2-3)

部活動の活躍

※6月22日まで

卓球部

関東高校卓球大会茨城県予選

男子団体

- 4位 吉原 優摩(3-3)
小林 真人(3-3)
野田 桔平(3-2)
関澤 美昭(2-3)
會沢 天我(2-2)
江幡 晴(2-4)
間中 大翔(2-2)
早川 悠斗(2-2)
- 女子団体
- 3位 谷島 果歩(2-2)
佐々木心結(2-1)
國府田成美(2-1)
新治 舞羽(1-5)
成田 愛梨(1-2)
首藤さくら(1-3)

※関東大会アベック出場決定

女子ダブルス

- ベスト8 佐々木心結(2-1)
新治 舞羽(1-5)

女子シングルス

- 優勝 新治 舞羽(1-5)

※関東大会出場決定

全校高校総体県西地区予選

男子ダブルス

- 優勝 會沢 天我(2-2)
江幡 晴(2-4)

男子ダブルス

- 2位 小林 真人(3-3)
関澤 美昭(2-3)

男子シングルス

3位 間中 大翔(2-2)

第73回関東高校卓球大会

男子団体 初戦敗退

女子団体 初戦敗退

女子シングルス

ベスト16 新治 舞羽(1-5)

全国高校総体茨城県予選

学校対抗

男子団体

- 3位 吉原 優摩(3-3)
小林 真人(3-3)
野田 桔平(3-2)
関澤 美昭(2-3)
會沢 天我(2-2)
江幡 晴(2-4)
- 女子団体
- 4位 谷島 果歩(2-2)
佐々木心結(2-1)
國府田成美(2-1)
新治 舞羽(1-5)
成田 愛梨(1-2)

女子シングルス

2位 新治 舞羽(1-5)

※全国高校総体出場決定



男子ダブルス

3位 會沢 天我(2-2)
江幡 晴(2-4)

男子

ベスト8 小林 真人(3-3)
関澤 美昭(2-3)

サッカー部

関東高校サッカー大会県西地区代表決定戦

4対3で下館第一高校に勝利。
※県大会出場決定

関東高校サッカー大会県予選

1回戦

2対2(PK4-3)で那珂高校に勝利。

2回戦

1対0で古河第三高校に勝利。

3回戦

0対2で霞ヶ浦高校に惜敗。

※県大会ベスト8



全国高校総体サッカー競技茨城県予選

2回戦

1対1(PK2-4)で日立第一高校に惜敗。

ソフトテニス部

関東高等学校ソフトテニス大会茨城県予選

女子団体
優勝

川田 桃叶(3-3)
齋藤 綾乃(3-5)
野部 円寿(3-3)
加藤 七菜(3-5)
猪瀬 杏奈(3-2)
渡邊 空音(3-2)
伊澤 陽由(2-1)
飯村 華(3-2)

女子個人
優勝

川田 桃叶(3-3)
齋藤 綾乃(3-5)
野部 円寿(3-3)
加藤 七菜(3-5)
猪瀬 杏奈(3-2)
渡邊 空音(3-2)

※関東大会へ女子団体と女子個人3ペアの出場が決定。

関東高等学校ソフトテニス大会

女子団体
3位

川田 桃叶(3-3)
齋藤 綾乃(3-5)
野部 円寿(3-3)
加藤 七菜(3-5)
猪瀬 杏奈(3-2)
渡邊 空音(3-2)
伊澤 陽由(2-1)

飯村 華(3-2)

川田 桃叶(3-3)
齋藤 綾乃(3-5)

全国高等学校ソフトテニス大会茨城県予選

女子団体
2位

川田 桃叶(3-3)
齋藤 綾乃(3-5)
伊澤 陽由(2-1)
加藤 七菜(3-5)
猪瀬 杏奈(3-2)
渡邊 空音(3-2)
野部 円寿(3-3)
青木 朝香(3-4)

女子個人
優勝

川田 桃叶(3-3)
齋藤 綾乃(3-5)

※全国高校総体出場決定。

ハイスクールジャパンカップ

女子個人
17位

川田 桃叶(3-3)
齋藤 綾乃(3-5)

硬式野球部

春季県西地区大会

対境高校 9-0(7回コールド)で勝利。

春季関東地区高校野球県大会

2回戦
対石岡第一高校 7-0(8回コールド)で勝利。

3回戦
対水戸第一高校 11-1(5回コールド)で勝利。

4回戦
対霞ヶ浦高校 1-2で惜敗。
※30年ぶりのベスト8



ライフル射撃部

関東大会県予選

チームライフル男子
21位 大須賀 涼(2-5)
23位 大関 望来(3-5)

チームピストル女子
3位 田村 美羽(2-3)

ライフル射撃競技全国大会県予選

チームピストル男子
8位 福田 大希(1-1)

チームピストル女子
3位 田村 美羽(2-3)
※全国大会出場決定。



陸上競技部

全国高校陸上競技大会県予選会

男子円盤投
優勝 澤 勇氣(3-5)

男子砲丸投
2位 澤 勇氣(3-5)

※北関東大会出場決定。

男子砲丸投
出場 岩本 拓己(3-4)

男子ハンマー投
出場 河原井孝太(3-5)
澤 勇氣(3-5)

男子八種競技
出場 萩谷 勇斗(2-5)

女子400M
出場 馬目 結衣(2-1)

女子走幅跳
出場 馬目 結衣(2-1)

女子円盤投
出場 赤沢 夏美(2-2)

全国高校総体関東予選会

男子円盤投
5位 澤 勇氣(3-5)
※全国高校総体出場決定

男子砲丸投
7位 澤 勇氣(3-5)



バスケットボール部

関東高等学校バスケットボール大会茨城県西地区予選会

1回戦
対古河中等 63-42で勝利。
2回戦

対古河第二 59—75で惜敗。
全国高校総体バスケットボール大会西地区予選会

1回戦
対下館工業 40—77で惜敗。



バドミントン部

関東高校県予選
男子学校対抗戦

ベスト32 鈴木 陽斗(3—5)

飯山 温基(3—4)

渡邊 輝(3—5)

久保田創真(3—2)

木原 光翼(2—4)

村田 侑翼(2—6)

太田 朋宏(2—6)

杉山 聖弥(3—5)

女子学校対抗戦

菅谷菜七子(3—3)

吉田 芭(3—6)

高平希乃果(2—5)

全国高校総体県予選

市川 星来(2—6)
猪野 凛華(2—4)
川又 琉奈(1—4)

男子ダブルス

出場 木原 光翼(2—3)
村田 侑翼(2—6)

女子ダブルス

出場 菅谷菜七子(3—3)
吉田 芭(3—6)

高平希乃果(2—5)

市川 星来(2—6)

女子シングルス

出場 菅谷菜七子(3—3)
吉田 芭(3—6)

高平希乃果(2—5)

猪野 凛華(2—4)

市川 星来(2—6)

川又 琉奈(1—4)

女子学校対抗戦

出場 菅谷菜七子(3—3)
吉田 芭(3—6)



剣道部

関東高校剣道大会茨城県予選

男子個人

ベスト32 仙波 弓侍(1—3)

女子個人

ベスト16 井上 優美(2—2)

ベスト32 山崎 心海(3—1)

ベスト32 小林 由美(3—1)

全国高校剣道大会茨城県予選

女子個人

ベスト16 大谷 彩葉(2—1)

ベスト16 井上 優美(2—2)



ソーシャルメディア部

NHK全国高校放送コンテスト茨城県予選

放送部門(朗読)

3位 高野 晴香(3—2)

※全国総文祭出場決定

総合科学部

モデルロケット全国大会

高度競技・滞空時間競技出場

岩村 秋音(3—4)

柿木 海人(3—4)

安藤 綾音(3—4)

諸井 遥(2—3)

古市 百花(2—5)



吹奏楽部



チアリーディング部



活躍する卒業生

平成25(2013)年4月 3学期制から2学期制へ変更。

矢口陽一朗 (平成25(2013)年度卒)

- ①日本大学生物資源科学部海洋生物資源科学科／日本大学大学院生物資源科学研究科生物資源利用学専攻
- ②生徒会長を務めながら剣道部の副部長も務めたことです。物事を成功に導くために、試行錯誤しながら人や意見をまとめたことは私の青春であり、今の私を創り上げている貴重な経験です。
- ③剣道一本だった私が岩日で生物の面白さに気が付き、将来の夢も見つけることができました。
- ④現在は高山学園つくば市立高山中学校で教諭として日々研鑽しています。部活動顧問として、またクラス担任として生徒たちが成長したときには大きな喜びを感じます。今後も大学や大学院で得た多くの知識をもとに、楽しく分かりやすい理科の授業を行っていきます。授業を通して科学の面白さを一人でも多くの生徒に知ってもらい、未来の研究者や日本を担う人間になってくれればと思っています。



修学旅行はオーストラリア、宿泊学習・サマースクールは夢科へ。



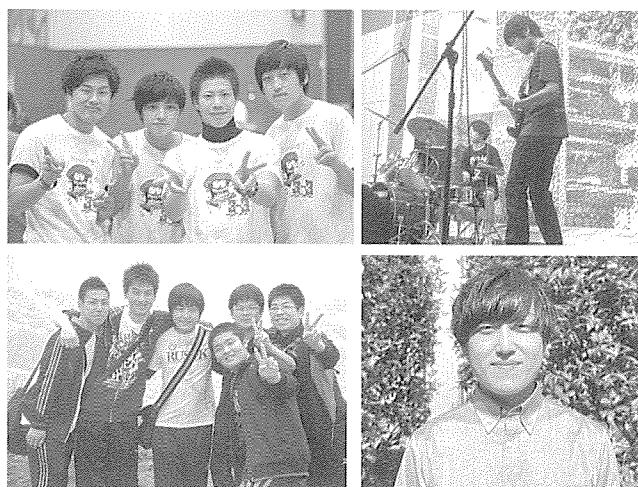
山口 貴之 (平成26(2014)年度卒)

- ①北里大学医学部
- ②クラス委員長を務めたことです。相手の気持ちを考えながらコミュニケーションをとることによって、クラスを一つにまとめるために努力しました。その結果、最後の文化祭で準優勝を勝ち取ることができたことは貴重な経験だったと思います。
- ③学習面のサポートです。岩日では、先生たちが毎日夜遅くまで残ってくれていて、授業で分からなかったところを職員室にいる先生に何度も質問しに行くと、先生が自分にとって必要な教材や問題などを用意してくれました。受験のときには先生との何気ない雑談が、今振り返ってみると意外に大事だったと感じています。
- ④筑波メディカルセンター病院で研修医として勤務しています。指導医から丁寧にご指導いただき毎日少しずつレベルアップできている事を実感しながら、同期と切磋琢磨し充実した日々を過ごしています。病気を診るのではなく患者さん自身をしっかりと診ることができる医師になれるように、一生懸命頑張っていきたいと思っています。

平成27(2015)年4月 齊藤克朗校長就任。

岩崎 貴志 (平成27(2015)年度卒)

- ①日本大学理工学部機械工学科
- ②私は軽音楽愛好会に所属しており、桜塚祭でバンド演奏をした際は機材のレンタルや当日の調整まで担当の先生にたくさん助けていただき、ステージを成功させたことが良い思い出です。
- ③日大に進学できたことです。理工学部では他の大学にはないような実験施設で貴重な経験を積むことができました。また、バンドを大学でも続けてたくさんの大切な仲間と出会うことができました。
- ④大学在学中に実際に企業の方から学ぶ講義もあって、実践的な内容を学び今の職場で活かしています。株式会社タマディックに勤務し、日本のものづくりを支える総合エンジニアリングの仕事をしています。



土浦日本大学学園60周年を祝してこの10年を卒業生と共に振り返ります。

①卒業後の進路先 ②高校3年間で印象に残っていること ③本校に入学してよかったこと ④現在の様子

※原稿は昨年度ご寄稿いただいたものです。

桜瑛祭は1,2年生の文化的出展と3年生,6支部の模擬店で盛大に開催された。

小竹 侑希 (平成28(2016)年度卒)

- ①日本大学商学部商業学科
- ②たくさんの友人と出会い、学んで、遊び、夢中で部活に取り組んだことです。
- ③「剣道が強くなりたい」という思いで岩日に入学しました。先輩や後輩、仲間、顧問の先生に恵まれ、最後まで剣道に集中することができました。学習面でもわからなければすぐに先生に質問することができ、進路も達成することができました。
- ④部活動の大会でメモ帳とペン、カメラを持って取材する女性記者の姿に憧れて、記者職に就きました。茨城新聞社水戸支社編集部勤務し、記者としてがんばっています。



平成28(2016)年4月 日本大学付属推薦入試が現行のシステムに変更。



刑部 朱音 (平成28(2016)年度卒)

(※今年度本校の教員として赴任しました)

- ①筑波大学人文・文化学群人文科学類／筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学系群人文科学学位プログラム言語学サブプログラム英語学専攻
- ②学校が毎日とても楽しかったことです。共に高みを目指す仲間たちと切磋琢磨し、時には笑い、時には競い合う、クラスの仲間たちや先生方との強いつながりが、受験でつらいときにとても励みになりました。
- ③先生方がとても熱心に指導してくださったことです。私の苦手分野に合わせて、放課後や長期休暇まで真摯に対応してくださり、入学時には思いもよらなかった新たな世界を3年後に見ることができました。
- ④高校で英語の文法の面白さに気づき、現在は大学院の修士課程で言語学の研究に励んでいます。

平成29(2016)年6月 選挙権年齢が18歳になり主権者教育・模擬投票を実施。

佐藤 茉結 (平成29(2017)年度卒)

- ①青山学院大学法学部
- ②3年生の桜瑛祭で模擬店をしたことです。私のクラスではクレープを販売しました。準備が大変でしたが、その分達成感がありクラスの団結力も高まりました。
- ③国立クラスは7時間目まで授業があり、3年生からは衛星授業も始まって、大変でくじけそうになりましたが、周りの友達と一緒にがんばっているのを見て最後までやり遂げることができました。
- ④現在はIT企業に就職し、毎日奮闘しています。岩日で過ごした3年を振り返ってみると、蓼科サマースクールや放課後の自習、定期試験や模試等、大変なことがたくさんありましたが、今となっては良い思い出ですし、忍耐力や集中力などを身につけることができました。仕事では、大学時代と全く別分野の知識を勉強しており、挫けそうになることもありますが、高校時代の経験が自信となり、非常に新鮮で充実した日々を送っています。



佐藤 真希 (平成30(2018)年度卒)

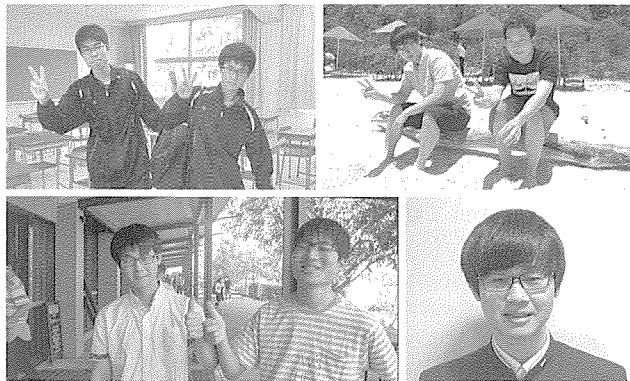
- ①茨城大学教育学部学校教育教員養成課程
- ②私は部活動、ボランティア活動をがんばりました。新聞部では全国総文祭に出場しました。モデルロケット全国大会では優勝することができました。4時から6時が部活動、6時から8時がロケット製作、その合間に授業でわからなかったことを先生に質問に行くという、充実した3年を過ごすことができました。

③先生方の丁寧な指導のおかげで、疑問点をその日のうちに解決できるという理想的な毎日を送ることができました。また岩日の先生方は、担任の先生だけではなく、他の先生方も一丸となって、3年間サポートをしてくださったため、とても頼りやすかったです。そのため、自分がしたいことに思いっきりチャレンジすることができたと感じています。

④現在、私は特別支援学校の教員を目指し頑張っています。今年は教員採用試験があり、日々勉強に追われていますが、夢が目標に変わったということを実感しています。また大学では聴覚障害についての研究を行っており、研究室に毎日通い自分がしたかった研究をすることができ、とても楽しく充実しています。大学院でも研究を継続して行いたいと考えているため、今年は院入試にもチャレンジします。岩日は勉強だけではなく、部活動、校外活動、ボランティア活動など、先生方の力を得ながら様々なことに挑戦することができたからこそ、今があると感じています。これからも自分の目指す教師像に向けて努力していきます。



令和元（2019）年 時代は令和へ。



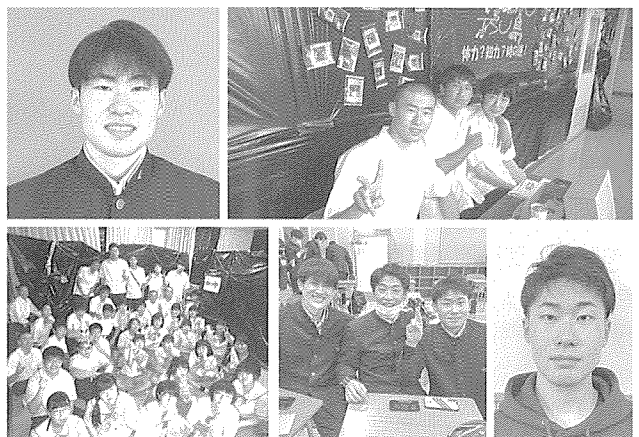
宮本 輝（令和元（2019）年度卒）

- ①日本大学松戸歯学部
- ②印象に残っていることは、蓼科サマースクールです。私は2年連続で参加しましたが、そこで先生方の手厚いサポートがあったおかげで大学に進学できたと思います。改めて参加してよかったと思っています。
- ③生徒と先生方の距離が近く、質問がしやすい環境下で学習ができ、将来のことや悩み事などを相談しやすいところが岩日の強みだと思います。
- ④歯科医師免許取得という目標に向けて日々精進しています。

令和2（2020）年3月 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校が始まった。

小竹 一輝（令和2（2020）年度卒）

- ①日本大学経済学部金融公共政策学科
- ②剣道をするために岩瀬日大に入学し、恵まれた環境で主将として結果を残すことができました。また心身共に成長することができました。コロナで無くなってしまった大会もありましたが、その気持ちを勉強に切り替えて、テスト勉強を頑張りました。クラスでも楽しい時間を過ごすことができました。
- ③先生方にサポートしていただきながら勉強に励み、希望の学部・学科に進学することができたことです。また、基礎学力到達度テストで納得のいく結果を出したことや、日本大学学長賞をいただいたことも、岩日に入学してよかったことのひとつです。
- ④今は、経済学部で、勉強に励んでいます。コロナ禍でオンライン授業が続いていましたが、大学で対面授業が始まり、サークルにも積極的に参加できるようになりました。



令和3（2021）年4月 吉田邦孝校長就任。

緒方 桃子（令和3（2021）年度卒）

- ①日本大学法学部新聞学科
- ②ソーシャルメディア部で全国総文祭に出場したことがいい思い出です。文芸部としての活動では、県大会や日大文芸コンクールで表彰を受け自信につながりました。また日本大学学長賞をいただき家族に喜んでもらったことは嬉しい思い出です。
- ③岩瀬日大の先生方は、生徒の考え方を尊重した指導方法で私の可能性を広げてくれました。私が進路に悩んでいたときにも親身になって対応してくださいました。
- ④日本大学新聞社に入社し、学生新聞記者として新聞作成を学んでいます。



令和4年度卒業生進路先区分及び令和5年度入試合格状況

1. 進路先区分 卒業生214名（日大・総進コース179名，国立・特進コース35名）

進路区分	人数	進路区分	人数	進路区分	人数
日本大学（専門舎）	112	国公立大学等	9	他私立四年制大学	56
他私立短期大学等	4	専門学校	30	就職・その他	3

2. 合格状況

日本大学 現役206名，既卒0名 合計206名

学部名	人数	学部名	人数	学部名	人数	学部名	人数
法学部	23	芸術学部	1	理工学部	27	生物資源科学部	16
文理学部	33	国際関係学部	3	生産工学部	30	短期大学部	7
経済学部	10	危機管理学部	7	工学部	30	附属専門学校	2
商学部	14	スポーツ科学部	2	松戸歯学部	1		

国公立大学等 現役15名，既卒0名 合計15名

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
茨城大学	4	琉球大学	1	島根県立大学	1	前橋工科大学	2
宇都宮大学	3	群馬県立女子大学	1	高崎経済大学	3		

私立大学 現役204名，既卒0名 合計204名

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
足利大学	1	城西大学	3	津田塾大学	2	二松學舎大学	1
茨城キリスト教大学	2	城西国際大学	2	帝京大学	1	日本女子大	4
浦和大学	1	白百合女子大学	1	帝京平成大学	1	日本保健医療大学	3
大妻女子大学	4	聖徳大学	3	東海大学	5	白鷗大学	10
共栄大学	1	大正大学	2	東京家政大学	1	文教大学	2
工学院大学	1	大東文化大学	5	東京経済大学	1	法政大学	1
国際医療福祉大学	8	高崎健康福祉大学	1	東京電機大学	3	武蔵野大学	4
駒澤大学	1	千葉科学大学	1	東京農業大学	1	立正大学	5
埼玉医科大学	1	千葉工業大学	85	東洋大学	15	流通経済大学	2
作新学院大学	1	中央大学	1	常磐大学	6		
実践女子大学	2	中央学院大学	1	獨協大学	4		
芝浦工業大学	1	つくば国際大学	2	獨協医科大学	1		

私立短期大学 現役4名，既卒0名 合計4名

短期大学名	人数	短期大学名	人数	短期大学名	人数	短期大学名	人数
佐野日本大学短期大学	1	女子栄養大学短期大学	1	常磐短期大学	1	山野美容芸術短期大学	1

専門学校等 現役30名，既卒0名 合計30名

学校名	人数	学校名	人数	学校名	人数
宇都宮日建工科専門学校	1	さいたまIT-WEB	1	東京医療秘書福祉専門学校	1
EIKA International College	1	さいたま柔整専門学校	1	東京モード学園	1
EIKA美容専門学校	2	首都医校	1	日本ウェルネススポーツ専門学校	1
大原法律専門学校	1	湘央医学技術専門学校	1	日本ホテルスクール専門学校	1
大原簿記情報公務員専門学校	1	専門学校日本動物21	1	H A L 東京	1
小山歯科衛生士専門学校	1	筑波研究学園専門学校	1	ミス・バリ・ビューティ専門学校	3
晃陽看護栄養専門学校	2	つくば国際ペット専門学校	1	水戸メディカルカレッジ医療専門学校	1
国際ティビシィ小山看護専門学校	3	TCA東京ECO動物海洋専門学校	1	バンタンクリエイターアカデミー	1

就職・その他 現役3名，既卒0名 合計3名

就職先名・その他	人数	就職先名・その他	人数
SMC株式会社	1	進路未定者	2



編集後記

本年度は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、規制が緩和され、5月に対応で行われた授業参観や総会等には多くの保護者の方々が参加されました。久しぶりに学校での子どもたちの様子を見たり、クラス懇談会に参加したり、有意義な時間を過ごすことができました。また、6月に行われた桜瑛祭は、制限はありながらも家族に一般公開も行われ、2日間開催されました。この日のために、子どもたちは出展や有志発表など、話し合い、協力して準備を行いました。団結力が深まったと思います。

今年度のテーマ「開花」。頑張ってきた努力が花開く瞬間にふさわしい文化祭になったと思います。天候にも恵まれ、子どもたちの眩しい笑顔あふれる時間を共有することができて本当に嬉しく思います。これも、校長先生をはじめ諸先生方、支部役員の方々、保護者の皆様の協力のおかげと感謝いたします。これからも、感染症対策をしながら少しでも多くの思い出ができることを願っています。

広報委員長 赤城真由美
(北つくば支部)